



音楽監督 Music director
岡原慎也 Shinya Okahara

Polaris International Music Festival



ポラリスとは北極星のことである。北極星は北半球において常に真北に輝き、その位置がほとんど変わらないことから、古くから航海などで正しい方角を確認するために用いられてきた。当国際音楽祭が、この数年で傷ついた音楽・芸術の新しい未来の目標、指針となるという希望を込めて命名。

2022/
8/6
[土]

岡原慎也 ピアノリサイタル

15:00 開演 (14:30 開場) 料金:一般 ¥4,000 学生 ¥2,500 (全席自由・税込)

Program

F.シューベルト:4つの即興曲 D899 Op.90

FRANZ SCHUBERT : IMPROMPTUS D899 OP.90

F.シューベルト:ピアノソナタ 第21番 変ロ長調 D960

FRANZ SCHUBERT : PIANO SONATA NO.21 B FLAT MAJOR D960

2022/
8/7
[日]

シンポジウム「人類と音楽の未来」& アーティストの饗宴

15:00 開演 (14:30 開場) 料金:一般 ¥5,000 学生 ¥3,500 (全席自由・税込)

シンポジウム 15:00～ アーティストの饗宴 16:30～

——シンポジウム「人類と音楽の未来」——



岡原 慎也
ピアニスト・指揮者



茂木 健一郎
脳科学者



堀江 政生
朝日放送テレビ
アナウンサー

Program

《田村 韶(ピアノ)》

F.ショパン／ワルツ 第1番「華麗なる大円舞曲」
FRYDERYK CHOPIN / WALTZ NO.1 OP.18 "GRANDE VALSE BRILLANTE"

C.ドビュッシー／月の光

CLAUDE DEBUSSY / SUITE BERGAMESQUE : III. CLAIR DE LUNE

R.シューマン=F.リスト／献呈

ROBERT SCHUMANN = FRANZ LISZT / WIDMUNG

《近藤 浩志(チェロ)・河合 珠江(ピアノ)》

A.ピアソラ／オブリヴィオン

ASTOR PIAZZOLLA / OBLIVION

A.ピアソラ／ル・グラン・タンゴ

ASTOR PIAZZOLLA / LE GRAND TANGO

《高山 郁子(オーボエ)・松井 茗(ピアノ)》

C.シューマン／3つのロマンス Op.22

CLARA SCHUMANN / 3 ROMANZEN OP.22

《石橋 栄実(ソプラノ)・岡原 慎也(ピアノ)》

武満 徹／小さな空

なかにしあかね／今日もひとつ

J.シュトラウスⅡ／春の声 Op.410

JOHANN STRAUSS II / FRÜHLINGSTIMMEN OP.410

《野山 真希(ピアノ)・岡原 慎也(ピアノ)》

4手作品:当日発表

会場(両日共に):ムラマツリサイタルホール新大阪

チケット
購入
(電子チケット)

<https://teket.jp/>
3662/12843



8/6・8/7 通し券
一般 ¥8,000 学生 ¥5,000 も販売中

お問い合わせ

info@polaris-imf.jp

音楽祭
公式
SNS

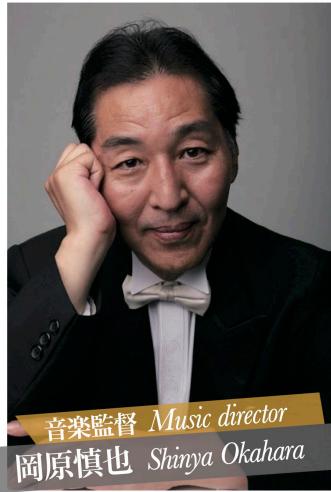


主催／ポラリス国際音楽祭実行委員会

後援／一般財団法人 山岡記念財団、株式会社オーパス・ワン、ヤマハミュージッククリテイリング 大阪なんば店、三木楽器 開成館、日本ドイツリート協会、大阪音楽大学付属音楽院
おふいすべガ

※両公演ともに未就学のお子様の同伴、入場はご遠慮ください。※曲目は変更になる場合があります。※新型コロナウィルス感染症防止策(マスク着用、咳エチケット)へのご協力をお願いいたします。

Polaris International MUSIC Festival



音楽監督 Music director
岡原慎也 Shinya Okahara

～音楽を救え！～ 音楽監督 岡原慎也

2020年からの新型コロナウィルスの世界的な流行により、音楽界はこれまでにないほどの大きな痛手を受けた。コンサート、音楽祭、そしてコンクール等も自粛が要請され、芸術や音楽は「不要不急」であると、半ば公然と言わることになった。しかし音楽は本当に不要不急なのだろうか？音楽は人類共通の貴重な遺産である。今こそ私たち音楽関係者が力を合わせ、声をあげなければならないと思う。人間は芸術・音楽に触れることによって成長し、知的で思慮深い存在になり得るのである。当音楽祭は国内外の著名アーティストに呼びかけ、音楽の素晴らしさを再度世に問う役割を果たすものである。

のみにとどまらず、チェスキー・クルムロフ音楽祭、リヒャルト・シュトラウス音楽祭、そしてグラン・カナリア音楽祭などに招待され、ソリスト、指揮者、歌曲のパートナー、室内楽奏者として幅広く活動している。また、2006年春にはチェコにおいて指揮者としてもデビュー、2019年暮れには、滋賀県大津市民会館でベートーヴェンの第九交響曲を指揮、好評を得た。ワーンフィルの主力メンバーからなるシトイディ・カルテットとはザルツブルグ、ワーン、大阪でのツアーも成功させる。また、ヘンシェル、同じくバリトンのシュテファン・ゲンツ、チェコのマルティヌー・カルテットなど、国内外で共演を重ねる海外アーティストも多い。ヘンシェル、ヘルムート・ディチュラと隔年で開催する「ドイツ歌曲解釈の夏期講習」はドイツ、オーストリア、日本で計8回開催され、多くの若い音楽家たちが巣立っている。1993年京都音楽賞、96年大阪文化祭賞本賞、そして2001年には音楽クリティッククラブ賞、2012年には第66回文化庁芸術祭優秀賞を受賞。これまでに20枚以上のCDがリリースされている。現在、大阪音楽大学教授。日本ドイツソリスト協会会長。



茂木 健一郎
Kenichiro Mogi
脳科学者

脳科学者。1962年東京生まれ。ソニーコンピュータサイエンス研究所上級研究員。東京大学大学院客員教授。東京大学理学部、法学部卒業後、東京大学大学院理学系研究科物理學専攻課程修了。2005年、『脳と仮想』(新潮社)で第4回小林秀雄賞。2009年、『今、ここからすべての場所へ』(筑摩書房)で第12回桑原武夫学芸賞。



堀江 政生
Masao Horie
朝日放送テレビ
アナウンサー

長く報道番組に携わり、2004年から5年間「ムーブ！」総合司会を担当。朝日新聞政治部記者などを経て、現在は「おはよう朝日です」月曜日コメンテーター。ラジオでは『堀江政生のザ・シンフォニーホールアワー』を放送中。コンサートの司会も多数行っている。

3人の子どもがそれぞれチェロ、ヴァイオリン、ピアノ奏者。



田村 韶
Hibiki Tamura
ピアノ

2007年ロン・ティボー国際コンクールにおいて弱冠20歳で第1位に輝き、一躍世界に注目されるに至った。これまでに、N響、読響、都響、新日本フィル、日本フィル、名古屋フィル、京響、大阪フィル、日本センチュリー響、東京シティ・フィル、神奈川フィル、仙台フィル、群響などと共に演奏。アントニオ・メネセス、宮田大、三浦文彰の各氏等と共に演奏を重ねるほか、同世代のアーティストとも多数共演する。京都市立芸術大学専任講師、大阪音楽大学専任講師、名古屋音楽大学客員准教授。



近藤 浩志
Hiroshi Kondo
チェロ

東京藝術大学を経て、エコール・ノルマル及びブローニュ音楽院を首席卒業。大阪国際室内楽コンクールをはじめ国内外の多数のコンクールに入賞。松尾学術振興財団音楽賞二年連続大賞受賞。米・カーネギーホールや国連会議場等でのソリストとしての活動をはじめ新日フィルや大阪フィル、ニューヨークフィル等国内外のオーケストラと共に演奏。現在大阪フィルハーモニー交響楽団チェロトップ奏者。



河合 珠江
Tamae Kawai
ピアノ

京都市立芸術大学音楽学部卒業、同大学院修士課程を最優秀で修了し、その後博士課程を修了し博士号を取得した。これまでにソロ・アルバム2枚を含む8枚のCDをリリース。演奏のほか、講演や、新聞や雑誌等への執筆も意欲的にを行い、これまで中国でのマスタークラス招聘や京都市立芸術大学非常勤講師を務めるなど後進の指導にも力を注いでいる。



石橋 栄実
Emi Ishibashi
ソプラノ

大阪音楽大学専攻科修了。大阪舞台芸術奨励賞、音楽クリティック・クラブ奨励賞、咲くやこの花賞、坂井時忠音楽賞、他受賞。1998年ドイツ・ケムニッツ市立劇場「ヘンゼルとグレーテル」にグレーテル役として招かれる。新国立劇場でのオペラ出演や宗教曲・交響曲のソリストとしても活躍。NHK名曲リサイタル、久石譲ジルベスターコンサート、その他TV出演など幅広く活動。大阪音楽大学教授、大阪音楽大学付属音楽院院長、大阪府立夕陽丘高等学校講師。



高山 郁子
Ikuko Takayama
オーボエ

大阪音楽大学卒業。卒業演奏会、ヤマハ新人演奏会に出演。卒業後同大学教育・演奏助手を務めた後、ドイツ国立カーレスルーエ音楽大学大学院に入学。1996年 ブラバの春国際コンクールに参加（セミファイナル）。1998年同大学大学院を最優秀で修了。これまでにトマス・インデアミュラー、モーリス・ブルグ、インゴ・ゴリツキ各氏のマスタークラスを受講。大阪フィルハーモニー交響楽団を経て2003年10月京都市交響楽団入団。2005年11月より首席奏者。大阪音楽大学、同志社女子大学、京都市立芸術大学各非常勤講師。オーボエファイブ メンバー。レ・バロッケンメンバー。



松井 萌
Megumi Matsui
ピアノ

東京藝術大学卒業、ドイツ国立カーレスルーエ音楽大学修士課程および国家演奏家資格課程を最優秀の成績で修了。在学中に奨学生を授与され、パリ・エコール・ノルマル音楽院にて高等教育課程ディプロマを満場一致で合格。これまでに馬場和世、閔孝弘、多美智子、岡原慎也、有森博、P.Blaicher、韓加卿の各氏に師事。現在、東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校、同志社女子大学および京都市立京都堀川音楽高等学校非常勤講師。



野山 真希
Maki Noyama
ピアノ

東京芸術大学音楽学部器楽科、同大学院修士課程、バンクーバー音楽院卒業。第9回パシフィック国際コンクール（カナダ）第3位など受賞。チェコ弦楽三重奏団、カルロヴィツア交響楽団等と共に演奏活動。シプリアン・カツアリスなど海外アーティスト公開レッスン通訳に携わる。二枚のCDリリース（月刊紙レコード芸術・準推薦盤）。2013年よりベートーヴェン・シリーズ開催、チェロソナタ全曲（公益財団朝日新聞文化財団助成）、ヴァイオリンソナタ全曲終了。神戸山手女子高等学校音楽科講師。日本ドイツソリスト協会、全日本ピアノ指導者協会会員。大人MUSICA代表。